



11～12月 いのちの学習を行います

体の仕組みや働きを学び、家族の方々の愛情や命の大切さ、尊さについて学習する機会として、新陽小ではいのちの学習の時間を各学年1時間取っています。学年ごとに以下の内容を予定しています。



1年「おへそのひみつ」

おへその役割を理解し、大事に育てられてきた自分のいのちの大切さを学びます。プライベートゾーンについても学習します。

2年「みんなのいのち」

男女の体の違いを知り、互いに相手を大切にすることを学びます。気持ちのコントロールについても学習します。

3年「いのちのはじまり」

受精から誕生までの様子を知り、家族の愛情、自他の命を大切にしようとする気持ちを学びます。物事の様々なとらえ方(リフレーミング)についても考えます。

4年「たいせつないのち」

思春期の男女の体の違いや二次性徴について知り、自他の体を大切にすることを学びます。ストレスを感じた時の対処法(レジリエンス)についても考えます。



5年「大人に近づくからだところ」

滝野宿泊学習前に、男女別で学習しました。思春期の心身の発育・発達には男女差、個人差があることを学びました。

6年「心地よい関係」

薬物乱用、喫煙、飲酒が心身に及ぼす影響について学習します。人とのコミュニケーションで上手に思いを伝える方法(アサーション)についても、みんなで考えます。

～保健室の様子から～

10月後半からインフルエンザが流行し始め、新陽小でも学年閉鎖がありました。「急な発熱」「強い感染力」が特徴なので、基本の対策「マスク着用」「手洗い」「換気」を心がけましょう。

子どもたちは学習発表会に向け、少し無理をしながらでも頑張っているようです。全力で本番を迎えられるように、朝から調子が悪い時は無理せずお休みするようご家庭でも健康観察をお願いいたします。



インフルエンザの出席停止期間

発症後5日経過し、かつ、
解熱後2日を経過するまで